

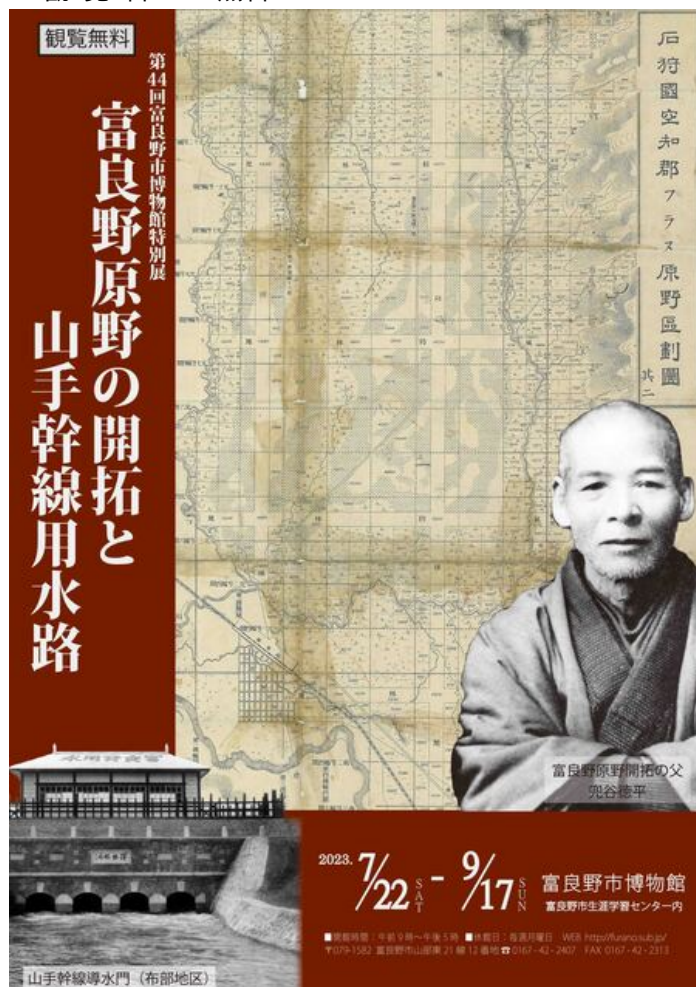
7/22〜 **第44回特別展「富良野原野の開拓と山手幹線用水路」**
展示会

投稿者：:

Posted on : 2023-7-20 0:00:00

本市が開庁120周年を迎える今年は富良野盆地の北東の縁を流れ、一帯の農地を潤している「山手幹線用水路」が通水して100年目でもあります。これを記念して、当館では農業開発の歴史を紹介する特別展「富良野原野の開拓と山手幹線用水路」を開催します。兜谷徳平ら先人の労苦と成果をふりかえり農業のまち・富良野の原点ともいえる土地改良の歴史に触れていただければ幸いです。ぜひご覧ください。

会 期	7月22日(土)～9月 17日(日) 19日(火) *月曜休館
会 場	富良野市博物館 2 階展示ホール
開館時間	午前 9 時～午後 5 時
観 覧 料	無料



富良野原野の開拓と山手幹線用水路

開拓のはじまり

★明治29～30年頃、富良野盆地の各地で入植がはじまります。はじめは眉山や東中といった、水はけのよい一部の地域で畑が作られ、すぐに稲作も始まりました。



眉山開拓がはじめて収穫した稲穂



本間牧場

★しかし、次々と戸数が増えていく中、人々は泥炭地などの条件の悪い場所でも農耕を試みるようになっていきました。

美田の誕生

★排水や用水の整備が完了した後も、土質の改善など土地改良の努力がなければ十分な収量はのぞめませんでした。



客土風景（山部村・昭和30年代）



田植え風景（学田一区・昭和32年）

★戦後は、本格的に客土や圃場整備が進められていき、様々な努力の結果、富良野地域は現在のような農業地帯となりました。

排水路と用水路

★馬さえおぼれるような泥炭地は耕作の作業自体が難しく、直播（当時主流だった）した種の根が土壌に活着しないことも、人々は様々な工夫をしながら田畑を広げて行きました。



馬用のわらぐつ



大正泥流の被害

★こうして抜本的に泥炭地を造田することが期待されるようになっていきます。このとき、中心的に動いたのが荒谷徳平でした。徳平は地域の人々の合意を形成し、中央大排水溝、山手幹線用水路を完成させました。



とくへいさん

★泥炭の中には十勝岳由来の硫黄成分が含まれ、生育の阻害されることも悩みのタネでした。十勝岳の噴火（大正泥流）後は硫黄成分がもたらす農業への悪影響はさらに増大しました。

開拓の陰で

★泥炭地の排水の努力は、同時に地域の全体の地下水位を下げることであり、かつての湿地林の自然環境は減少していきました。

★鳥沼公園は、富良野盆地にごくわずかに残された湿地林の一つですが、近年いっそう乾燥化が進み、ヘイケボタルの姿も見られなくなっています。



鳥沼公園のヘイケボタル

関連講座

富良野市博物館 ☎0167-42-2407 にお電話でお申し込みください。ギャラリートーク以外は市民優先。一次締切（8月15日）以降は市外の方の申込も受付します。

富良野の自然に親しむ会・自然観察会

活火山・活きている大地

米の収量をあげる妨げとなった十勝岳由来の硫黄成分。その源を地質的な視点も踏まえてさぐる自然観察会です。

日時：9月2日（土）9時～14時

場所：安政火口（上富良野町）

集合：富良野市複合庁舎前（バス乗車）

Gallery Talk

富良野市が本展の見どころを解説します。
日時：8月19日（土）
第1回：10:00～10:45
第2回：13:00～14:15
場所：展示会場



史跡見学会

"米どころ" 富良野の歴史遺産をさぐる

山手幹線用水の遺構をはじめとした農業遺産をめぐり、先人たちが汗を流した歩みを、現地の史跡を見ながら学びます。

日時：9月9日（土）9時～12時

場所：富良野地域各所

集合：富良野市複合庁舎前（バス乗車）